



宮城県水産技術総合センター  
気仙沼水産試験場

Miyagi Prefecture  
Fisheries Technology Institute,  
Kesenuma Fisheries Experiment Station



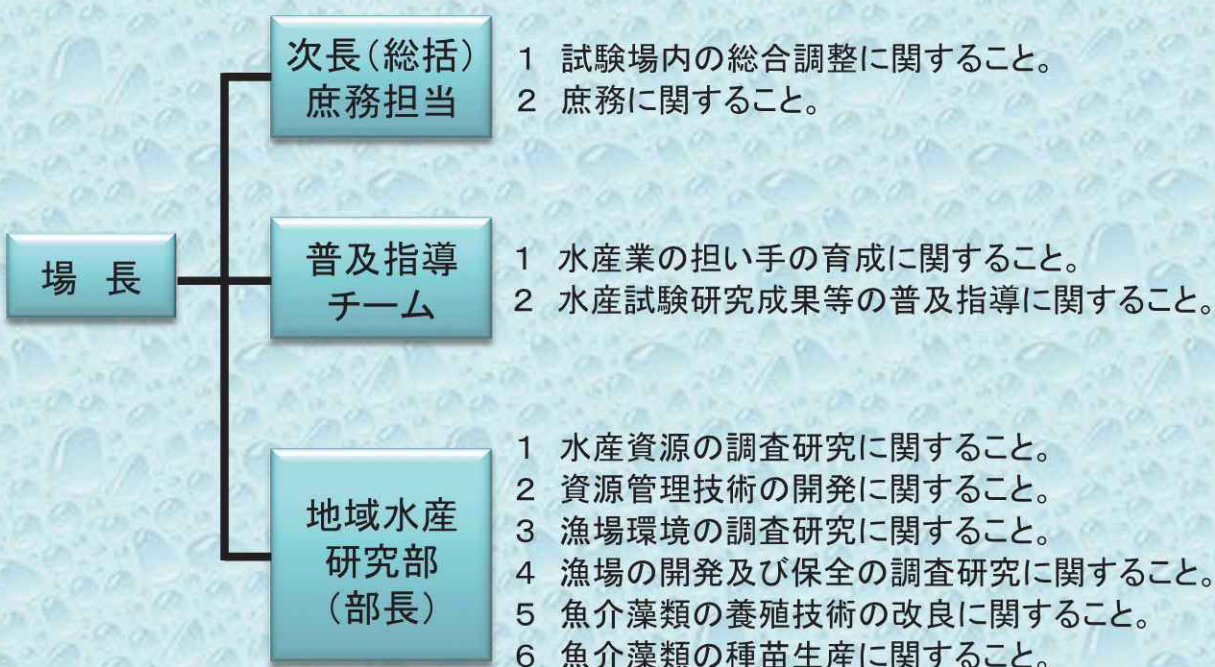
## 業務の概要

沿岸漁業・養殖業の生産性向上のために魚介藻類の増養殖技術の改良と新品目の開発，磯根資源の維持増大，増養殖場の開発，資源管理技術の普及，漁場環境の保全などに関する調査・研究・普及指導を業務としています。

## 沿革

昭和2年4月……宮城県水産試験場気仙沼分場として発足(潮見町)  
昭和44年3月……気仙沼市波路上内沼に新庁舎建設移転  
昭和45年4月……宮城県気仙沼水産試験場に昇格  
平成20年4月……本県水産試験場の組織再編により，名称を宮城県水産技術総合センター気仙沼水産試験場に変更  
平成23年3月……東日本大震災の津波により庁舎が全壊  
平成23年4月……気仙沼保健福祉事務所に仮事務所設置移転  
平成23年9月……気仙沼市赤岩杉の仮設合同庁舎に移転  
平成27年12月……気仙沼市波路上岩井崎に新庁舎再建移転

## 組織



# 施設概要

## 工事概要

- 建設場所 宮城県気仙沼市波路上岩井崎107
- 敷地面積 6,000㎡
- 施設構成

本庁舎	RC造3階建	延べ面積	1,095.06㎡
種苗生産棟	S造平屋	延べ面積	600.00㎡
附属棟	RC造平屋	延べ面積	27.00㎡
取水ポンプ棟	RC造平屋	延べ面積	49.87㎡

## 施設の特徴

- 本庁舎は2階建(旧庁舎)から3階建となり、事務室・会議室を2階、図書室・分析室を3階に配置
- 種苗生産棟は、養殖業者が種苗生産技術を学習したり、実際に種苗生産を実施するオープンラボとして開放
- また、恒温飼育室や微小藻類の精密培養室を設け、藻類のみならず、二枚貝類の種苗生産も可能



本庁舎



種苗生産棟

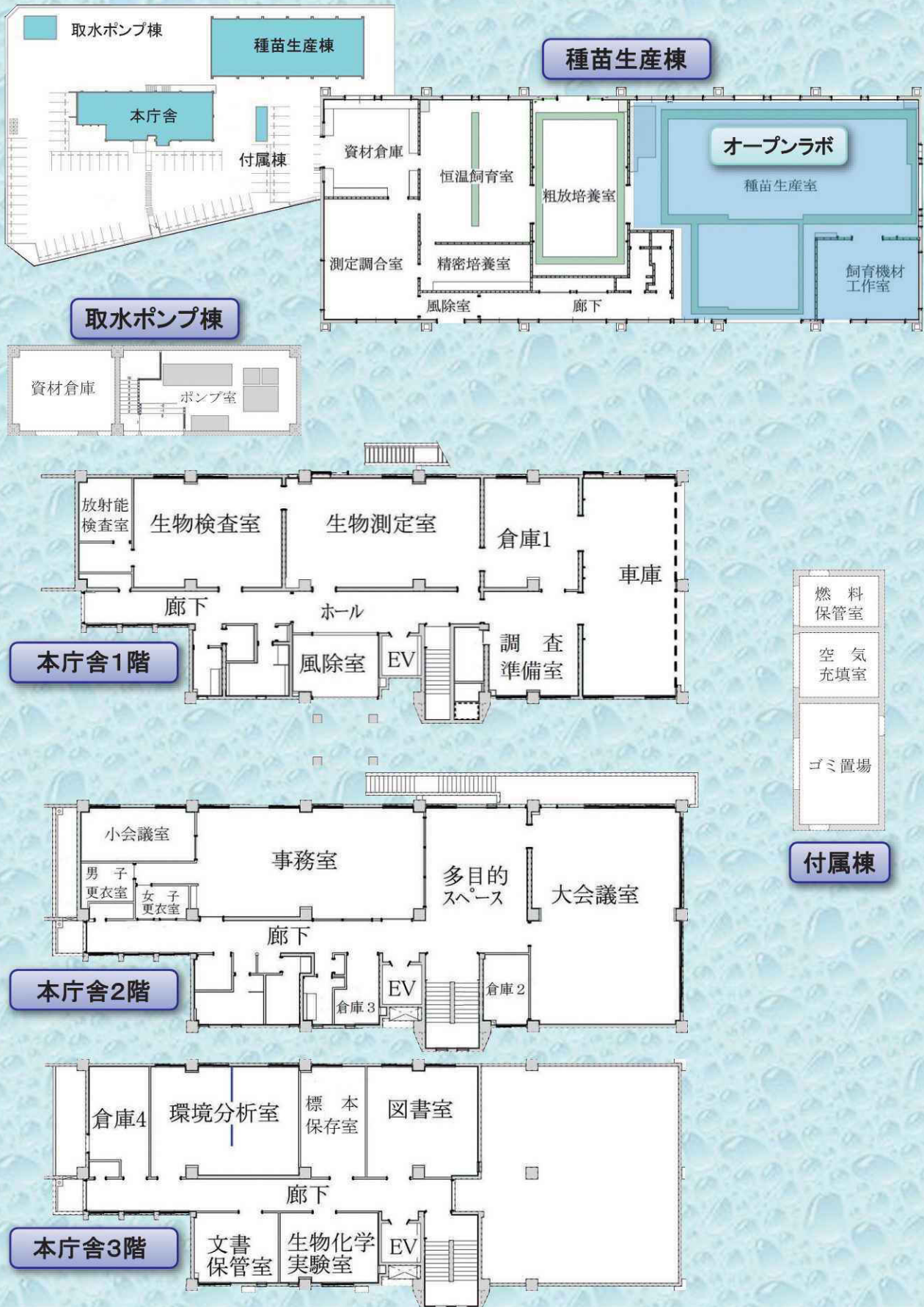


取水ポンプ棟



附属棟

# 施設平面図



# 東日本大震災による被災

## 被災した旧庁舎(平成23年4月撮影)



本館正面



実験室

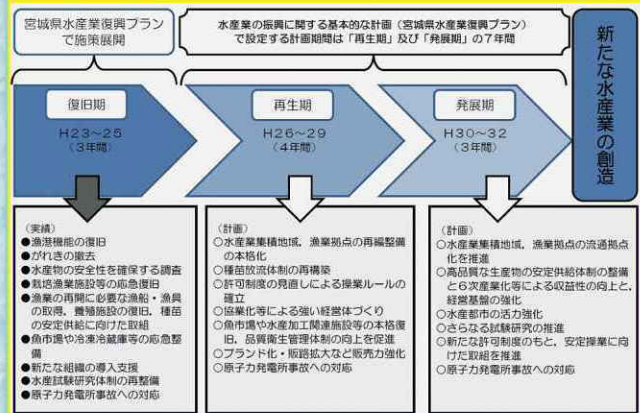


2階会議室

## 津波により気仙沼湾内で流される燃油タンク



## 宮城県水産基本計画(平成26年10月策定)



## 気仙沼水産試験場の震災関連復興業務

- ・水質の調査分析(有害物質)
- ・海底の油濁被害調査
- ・瓦礫の探索(サイドスキャンソナー)
- ・養殖業の復興支援, 種苗確保
- ・アワビ, ウニ類の被害調査
- ・干潟, 藻場の被害調査

## 宮城県水産基本計画分野別復興計画

### (7) 試験研究

#### ◎計画のポイント

- 被災した試験研究施設, 種苗生産施設の早期復旧
- 国や大学などとの連携を図り, 技術開発などを促進
- 漁場環境調査の強化と継続・適切な情報提供
- 養殖生産物の品質安定・向上に向けた研究強化
- 沿岸重要魚種の資源評価調査を強化
- 地域特産品開発や加工業者に対する技術支援

# 業 務 紹 介

## 増養殖技術の改良・普及と新品目の開発



タオヤギソウの養殖技術開発



ワカメの品種改良



ホタテガイの養殖技術改良



ギンザケ養殖技術の改良



マガキ養殖技術改良・普及



マボヤ人工採苗技術改良・普及



サケ増殖事業の技術指導

**ワカメ養殖通報 (第11報:最終)** 平成27年12月3日

水産技術総合センター 気仙沼水産部 電話 0228-22-6900

<協力機関>宮城県水産総合振興センター 気仙沼地方振興事務所水産課 仙台管区振興台

**水温は平年並み、栄養塩は今回も北部全域で多め!**

- ・12月1~2日に実施した観測地点の表層水温は12.6~15.3℃、10m水温は12.9~15.0℃でした。表層水温は前週(11/24~25)と比べ0.4~0.7℃下り、10m水温は1.1~1.7℃下りました。
- ・栄養塩は、適度な増殖もあり観測し難き状態が多かったです。
- ・今のところ、ワカメにとって好適な増殖環境が続いており、病害等の発生情報もなく、観測期間に発生している病跡ですが、引き続き、葉の状態や気象の変化にも気を配り、慎重に作業を進めてください。

○気仙沼港(岩舟崎)の水温  
<観測日(12月9日)>  
13.3℃  
<毎平均水温経過>  
11月下旬は13.0℃で、平年並みです。  
<平均水温予測値>  
12月10日~14日の予測値は12.5~13.5℃と推定されています。

養殖通報の発行

**平成27年度ホタテガイ採苗通報(第12報:臨時)**

採苗袋内のホタテ稚貝数は例年より多い、  
早めの稚貝採取に心がけて!

- 唐桑(石浜)、大島(外浜)、大谷本吉(蔵内)及び歌津(泊浜)において、7/13~15現在、ホタテ採苗袋内の稚貝数を調査しましたので、お知らせします。
- 採苗袋内のホタテ稚貝数は、唐桑(石浜)20,993個、大島(外浜)7,943個、大谷本吉(蔵内)5,098個、歌津(泊浜)14,227個となっており、例年よりも多い状況です。
- ホタテ稚貝の殻長組成は、全調査点において、全稚貝数の約半数が殻長8mm未満となっています。なお、採苗開始から経過した期間は約120日と推定されています。

## 磯根資源の維持増大、増養殖場の開発



本県北部のアワビ漁場における  
ウニ分布状況(岩肌の黒い点がウニ)



アワビ・ウニの潜水調査



ブロックへのアワビ移植

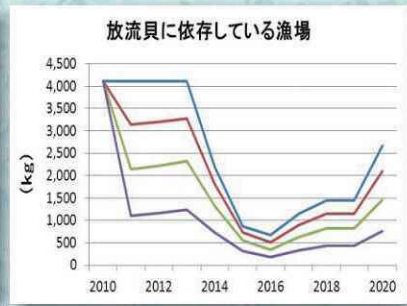
## 資源管理技術の開発普及



魚市場での水揚魚体長測定



水揚魚の耳石年輪による年齢査定



資源管理効果の予測

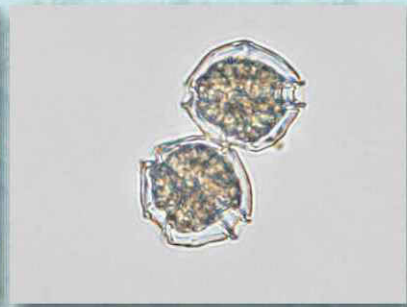
## 漁場環境の保全と水産物の安全確保



水質・底質の定期観測



貝毒プランクトン調査



貝毒プランクトン  
アレキサンドリウム・タマレンセ

## 情報発信

### 気仙沼水産試験場のホームページ



<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/>

または『**気仙沼水産試験場**』で検索

養殖通報, 貝毒情報, 水温情報,  
各種調査結果をご覧ください。

### 気仙沼水産試験場のfacebook



<https://www.facebook.com/kesuishi>

日々の活動や, 地域のピックアップを  
ご覧ください。

## 気仙沼湾の水質情報

[http://hydro.browse.jp/nitratemon/k8/kesenuma\\_index.html](http://hydro.browse.jp/nitratemon/k8/kesenuma_index.html)

気仙沼湾ニツ根に設置した観測器により、水質情報(水温、溶存酸素、クロロフィルa、塩分、硝酸塩)が、リアルタイムでご覧いただけます。

気仙沼湾テレメータ水質情報

宮城県水産技術総合センター気仙沼水産試験場では、気仙沼湾内ニツ根に設置した観測器による水質連続観測データを公開しています。

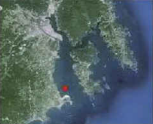

※平成26年2月から、誤脱線データを追加しました。

【測定項目】  
水温・塩分・溶存酸素・クロロフィルa (30分毎)  
硝酸塩 (2時間毎)

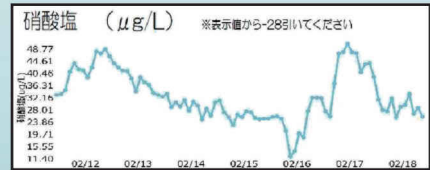
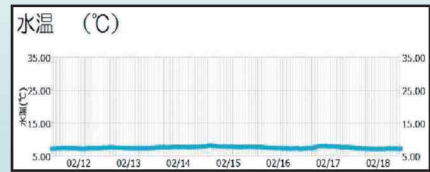
【測定水深】  
水深3m

※遠征値に付き、海水分析結果と異なる場合があります。  
※硝酸塩は実測値との比較は厳禁です。参考値としてご利用ください。  
※※現在、硝酸塩が正常に表示されています。実際の値は、表示されている値から「28」を引いた値を目安としてください。(表示の値が28より小さい場合は「0」となります)

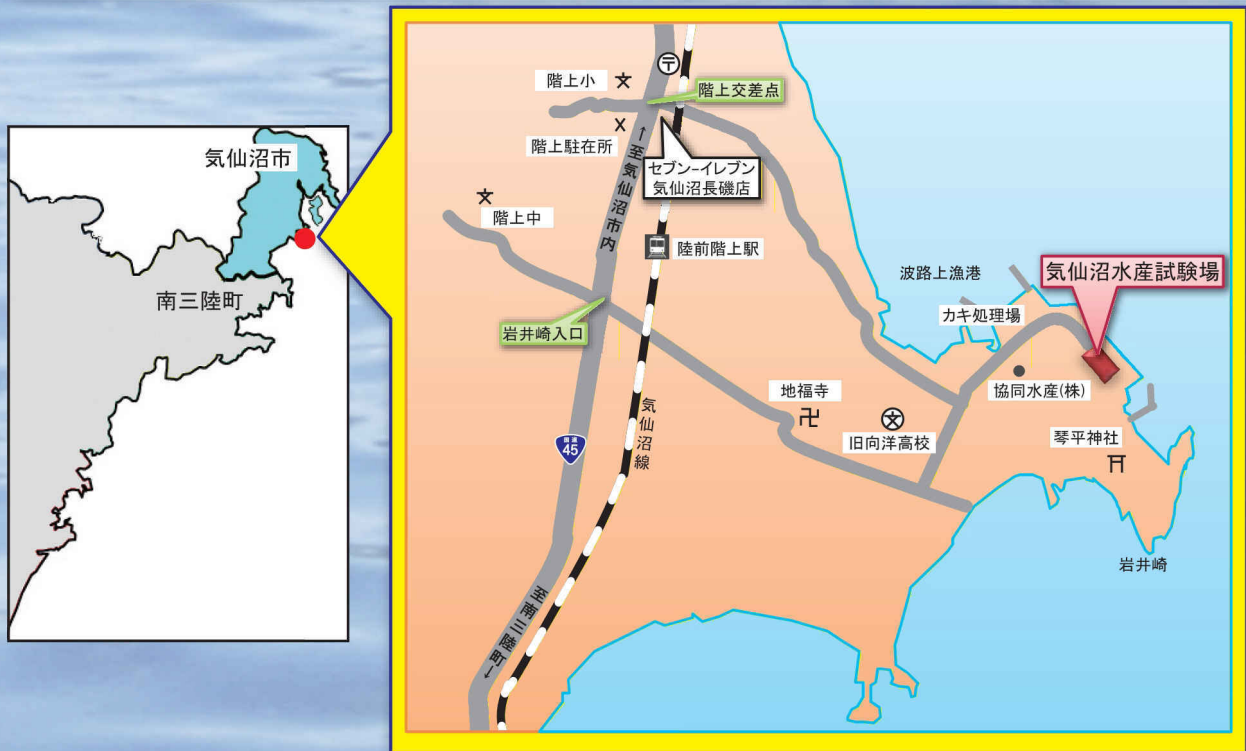
水質観測データの最新値(水深3m)

計測地点 気仙沼湾ニツ根 計測地点の様子



## アクセス



### 交通機関をご利用の方

「一関駅」⇒ (大船渡線) ⇒ 「気仙沼駅」⇒ タクシー(30分)

「仙台駅」⇒ (高速バス) ⇒ 「階上公民館前」⇒ 徒歩(30分)

### 自動車をご利用の方

仙台 ⇒ (国道45号線下り線) ⇒ 気仙沼市「岩井崎入口」または「階上交差点」を右折

## 宮城県水産技術総合センター気仙沼水産試験場

〒988-0241

宮城県気仙沼市波路上岩井崎107

電話

0226-41-0652

FAX 0226-41-0743

電子メール

試験場代表 kssuisan@pref.miyagi.jp

普及指導チーム mtsc-ks@pref.miyagi.jp

地域水産研究部 mtsc-ka@pref.miyagi.jp

ホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenuma-s/>



このパンフレットは5,000部作成し  
1部当たりの印刷単価は52.92円です。